



平成30年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年9月8日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社
コード番号 6097 URL <https://www.viewhotels.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤由明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島学

TEL 03-5828-4429

四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	5,536	10.2	341	0.2	383	25.5	260	22.7
29年4月期第1四半期	5,023	5.5	341	1.4	305	4.1	212	0.8

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 263百万円 (22.4%) 29年4月期第1四半期 215百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	27.60	27.46
29年4月期第1四半期	21.94	21.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	28,746	12,481	43.4
29年4月期	23,135	12,575	54.4

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 12,481百万円 29年4月期 12,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	0.00	0.00	0.00	22.00	22.00
30年4月期	0.00				
30年4月期(予想)		0.00	0.00	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	7.3	400	49.0	360	51.8	90	81.8	9.56
通期	22,000	9.0	700	48.6	610	53.2	160	0.0	17.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

第2四半期(累計)および通期の業績予想の1株当たり当期純利益は、ストック・オプション行使分(11,600株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期1Q	9,692,425 株	29年4月期	9,680,825 株
期末自己株式数	30年4月期1Q	297,600 株	29年4月期	181,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期1Q	9,439,925 株	29年4月期1Q	9,675,433 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策等を背景に企業収益や雇用環境が改善し、国内景気は緩やかな回復傾向を続けました。その一方で、米政権の政策動向や各国の政治情勢の変動、中国をはじめとする新興国の景気下振れ懸念等、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、新規ホテルの開業や民泊の広がりなどによって競争が激化しているものの、政府の観光立国推進に向けた政策を背景に訪日外国人は引き続き増加しており、宿泊部門を中心として堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成30年4月期から4ヶ年の第2次中期経営計画「VIEW HOTELS Mission - Sustainable Growth -」の基本方針である1)更なる安全・安心の追及、2)大都市圏での都市型観光ホテルの展開、3)各事業所の現状・市場・将来性の再検討、4)株主還元、に基づき、長期持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,536百万円（前年同期比10.2%増）となり、営業利益は341百万円（前年同期比0.2%減）となりました。経常利益は原発事故による逸失利益の補償金として57百万円を計上したことなどにより、383百万円（前年同期比25.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は260百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)			減価償却前営業利益(*)		
	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第1四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	4,203	4,696	493	320	285	△35	552	611	59
施設運営事業	438	432	△5	△8	6	14	△3	11	14
遊園地事業	403	429	25	27	47	19	46	72	26
合計	5,045	5,558	513	339	339	△0	595	696	100
調整額	△22	△21	0	1	1	0	1	1	0
連結数値	5,023	5,536	513	341	341	△0	597	698	100

(*) 減価償却前営業利益＝営業利益又は損失＋減価償却費

①ホテル事業

ホテル事業では、平成29年5月に札幌ビューホテル大通公園を新規に開業し、客室、宴会、レストラン他の各部門で業績に寄与いたしました。既存のホテルでは、宿泊部門において、引き続き拡大傾向にある訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力した他、需要動向予測に基づく料金プランの設定による1室当たりの売上高の最大化を図り、順調に推移いたしました。また、婚礼・宴会、レストラン他部門では、集客に苦戦いたしました。

これらの結果、売上高は4,696百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は285百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

②施設運営事業

施設運営事業では、インターネットでの宿泊プランの充実を図り、客室売上が順調に推移いたしました。また、「グリーンパル那須」が改装工事のために平成29年6月の1ヶ月間を全館休業したことにより、前年同期比で売上高が減少いたしました。

これらの結果、売上高は432百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は6百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、団体の集客が伸び悩んだ他、平成29年7月の天候不順による影響がありました。また、前連結会計年度の平成28年7月にオープンした「那須の恵み Me k k e! ブッフエ&マルシェ」が業績の伸長に寄与いたしました。

これらの結果、売上高は429百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は47百万円（前年同期比70.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、28,746百万円（前連結会計年度末23,135百万円）と、5,611百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,439百万円（同5,005百万円）と、566百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、24,306百万円（同18,129百万円）と、6,177百万円増加いたしました。これは、主に札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース資産の増加によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、16,264百万円（前連結会計年度末10,559百万円）と、5,705百万円増加いたしました。

うち流動負債は、3,884百万円（同4,386百万円）と、501百万円減少いたしました。これは、主に買掛金の減少によるものであります。

固定負債は、12,380百万円（同6,173百万円）と、6,207百万円増加いたしました。これは、主に札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース債務の増加および長期借入金の増加によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、12,481百万円（前連結会計年度末12,575百万円）と、94百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加があったものの、剰余金の配当の支払いおよび自己株式の取得によって減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、43.4%（前連結会計年度末比11.0ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月17日の「営業外収益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,221	2,462
売掛金	854	996
貯蔵品	201	194
繰延税金資産	200	129
その他	527	656
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,005	4,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,123	10,085
機械装置及び運搬具（純額）	227	241
工具、器具及び備品（純額）	433	412
土地	5,613	5,613
建設仮勘定	392	1,706
リース資産（純額）	80	4,974
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	16,870	23,033
無形固定資産		
その他	44	50
無形固定資産合計	44	50
投資その他の資産		
投資有価証券	43	51
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	271	270
その他	902	904
貸倒引当金	△97	△97
投資その他の資産合計	1,214	1,222
固定資産合計	18,129	24,306
資産合計	23,135	28,746

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	985	418
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	948	1,115
リース債務	48	285
未払金	1,204	1,329
未払法人税等	294	81
未払消費税等	160	40
賞与引当金	285	151
ポイント引当金	30	16
その他	263	280
流動負債合計	4,386	3,884
固定負債		
社債	253	253
長期借入金	5,055	6,197
リース債務	70	5,157
退職給付に係る負債	435	423
資産除去債務	47	47
長期未払金	171	160
その他	140	141
固定負債合計	6,173	12,380
負債合計	10,559	16,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769	2,775
資本剰余金	1,689	1,695
利益剰余金	8,269	8,321
自己株式	△247	△408
株主資本合計	12,481	12,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	8
退職給付に係る調整累計額	90	88
その他の包括利益累計額合計	94	97
純資産合計	12,575	12,481
負債純資産合計	23,135	28,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	5,023	5,536
売上原価	1,224	1,280
売上総利益	3,798	4,256
販売費及び一般管理費	3,456	3,915
営業利益	341	341
営業外収益		
償却債権取立益	17	—
受取補償金	—	57
その他	20	19
営業外収益合計	37	77
営業外費用		
支払利息	20	33
支払手数料	50	—
その他	3	1
営業外費用合計	73	34
経常利益	305	383
特別利益		
固定資産売却益	—	21
投資有価証券売却益	3	3
特別利益合計	3	24
特別損失		
固定資産除却損	7	21
その他	—	0
特別損失合計	7	21
税金等調整前四半期純利益	302	387
法人税、住民税及び事業税	59	56
法人税等調整額	30	69
法人税等合計	89	126
四半期純利益	212	260
親会社株主に帰属する四半期純利益	212	260

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日)
四半期純利益	212	260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	4
退職給付に係る調整額	3	△1
その他の包括利益合計	3	3
四半期包括利益	215	263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が160百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が408百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成29年7月24日をもって終了しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成28年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,197	422	402	5,023	—	5,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	16	0	22	△22	—
計	4,203	438	403	5,045	△22	5,023
セグメント利益又は損失 (△)	320	△8	27	339	1	341

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年5月1日 至 平成29年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,691	416	428	5,536	—	5,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	16	0	21	△21	—
計	4,696	432	429	5,558	△21	5,536
セグメント利益	285	6	47	339	1	341

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。